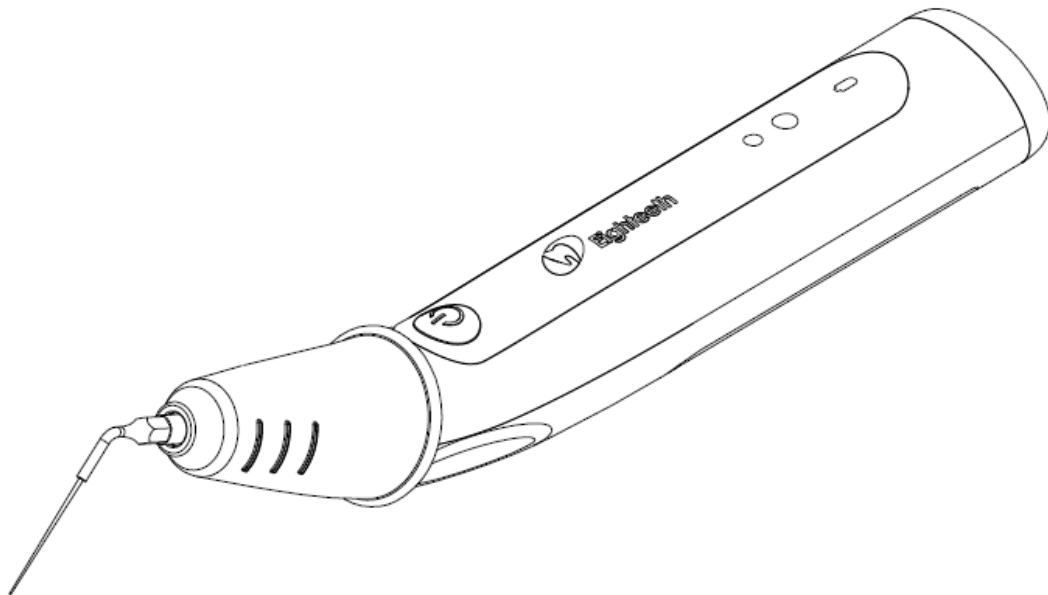


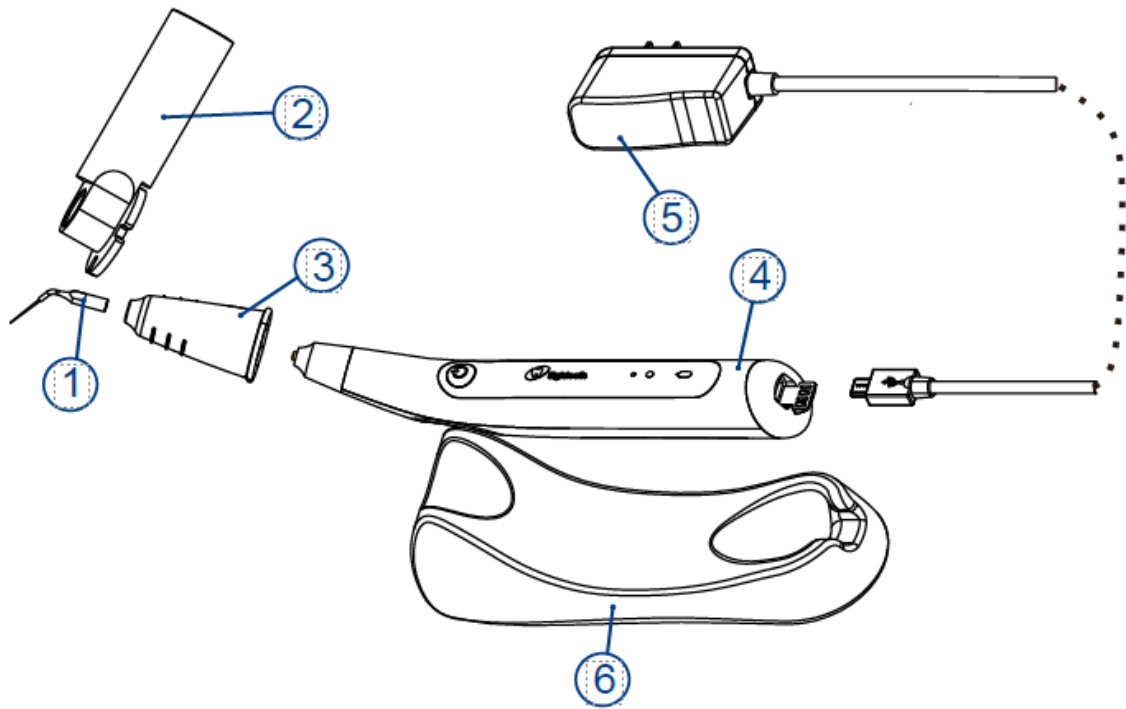


Ultra  超音波根管洗浄器

取扱説明書

1. Ultra Xの適用範囲

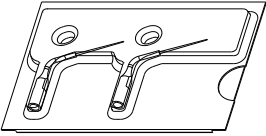
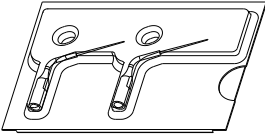
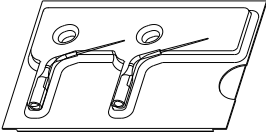
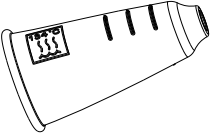
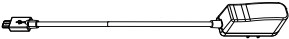
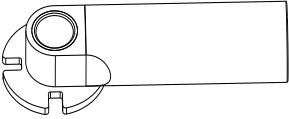
1.1 部品の識別



付属品一覧

- 1. チップ（6個）
- 2. レンチ
- 3. 絶縁スリーブ
- 4. Ultra Xハンドピース
- 5. アダプター
- 6. ハンドピースベース

1.2 構成部品および付属品

Ultra X ハンドピース (1本) 注文コード: 6251001 	チップ: S21 (1個) 注文コード: 6251041 	チップ: G18 (1個) 注文コード: 6251042 
チップ: B18 (1個) 注文コード: 6251043 	絶縁スリーブ (1個) 注文コード: 6204002 	アダプター (1個) 注文コード: 6016001 
レンチ (1個) 注文コード: 6251007 	ハンドピースベース (1個) 注文コード: 6005002 	取扱説明書 (1個) 注文コード: 6235001

3.使用前の注意事項

3.1適用範囲

Ultra Xは、超音波エネルギーを応用した根管治療に使用されます。Ultra Xは、効果的な洗浄、浸透、およびペーパーロックの除去に必要な十分な音響流とキャビテーションを生成するために必要な、先端の振動および周波数（45KHz+5KHz）のエネルギーを供給します。根管系が適切に洗浄されることで、治療成績が向上し、再治療率が低下します。

本装置は、病院、クリニック、または歯科医院において、資格を有する歯科医療従事者によってのみ使用されなければならない、酸素濃度の高い環境では使用してはなりません。

3.2禁忌

Ultra Xは、患者または使用者がペースメーカーや人工内耳などの医療用インプラントを装着している場合には禁忌です。

インプラントやその他の歯内療法以外の歯科処置には、本装置を使用しないでください。

妊婦および小児に対する安全性および有効性は確立されていません。



警告

ご使用前に以下の警告をお読みください：

1. 本装置は、湿気の多い環境や、いかなる種類の液体とも接触する可能性のある場所に置かないでください。
2. 本装置を直接または間接的な熱源にさらさないでください。本装置は、安全な環境下で操作および保管してください。
3. 本装置は電磁両立性（EMC）に関して特別な注意事項が必要であり、EMCに関する情報を厳守して設置および操作しなければなりません。特に、蛍光灯、無線送信機、リモコンの近くでは本装置を使用しないでください。また、病院内の稼働中の高周波（HF）手術機器の近くでも本システムを使用しないでください。携帯型RF通信機器（アンテナケーブルや外部アンテナなどの周辺機器を含む）は、E-connect Sのいかなる部分からも30 cm（12インチ）以上離して使用してください。これには以下も含まれます。

メーカー指定のケーブルを含みます。これを守らないと、本機器の性能が低下する恐れがあります。高温の環境での充電、使用、保管は避けてください。
指定された使用および保管条件を遵守してください。

4. 治療中は、手袋およびラバーダムを着用が義務付けられています。

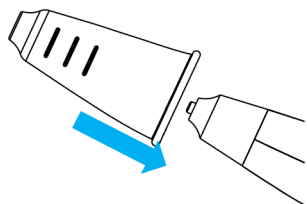
5. 治療中に装置に異常が生じた場合は、電源を切ってください。販売代理店にご連絡ください。

6. 絶対に本装置を自分で開けたり修理したりしないでください。そうした場合、保証は無効となります。

4. Ultra Xのセットアップ

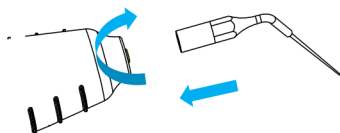
4.1 スリーブの取り付け

必ずシリコン製スリーブを使用してください。



4.2 チップの取り付け

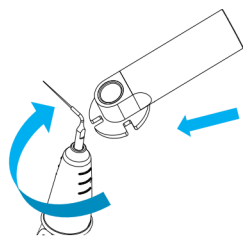
チップのネジ山がハンドピースのスタッドと揃っていることを確認してください。それらを差し込み、慎重に回してください。



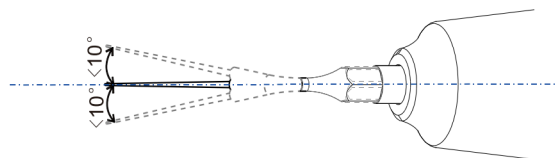
注

- 純正のチップのみを使用してください。
- アクティベーターのチップは出荷時には滅菌されていません。初回使用前にオートクレーブ滅菌を行ってください。
- アクティベーターのチップは、使用するたびに洗浄・消毒してください。

付属のレンチを使用して、チップがしっかりと固定されるまで、時計回りに締め付けてください。



本機にチップを取り付ける際、チップの角度は10°の範囲内で調整可能です。そのため、チップを過度に締め付けしないでください。

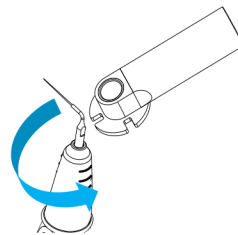


警告

- 挿入する前にチップを点検してください。損傷したチップは使用しないでください。
- チップの取り付けおよび取り外しを行う際は、装置の動作を停止させてください。
- チップを軽く引っ張って、ハンドピースにしっかりと固定されていることを確認してください。固定が不十分な場合、チップが飛び出して患者に怪我をさせる恐れがあります。

4.3 チップの取り外し

付属のレンチを使用して、チップが外れるまで反時計回りに緩めてください。



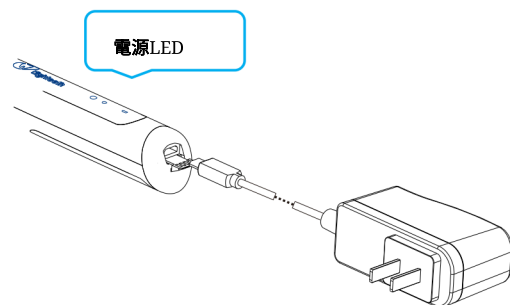
警告

- 1つのチップあたりの推定使用回数：1症例につき2本の根管治療を基準として、20回です。

指を傷つけないよう、チップの着脱には十分注意してください。

4.4 アダプターの接続

USB ケーブルをハンドピースの電源コネクタに接続し、もう一方の端を電源コンセントに差し込みます。ハンドピースの電源 LED が点滅（黄色）します。

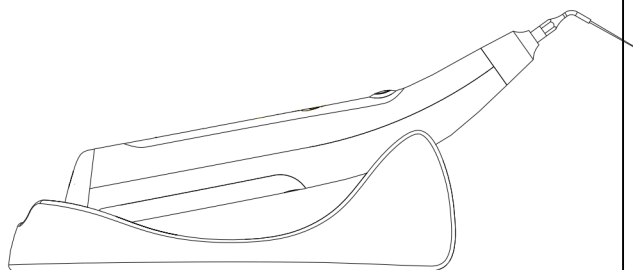


注

純正のアダプターのみを使用してください。

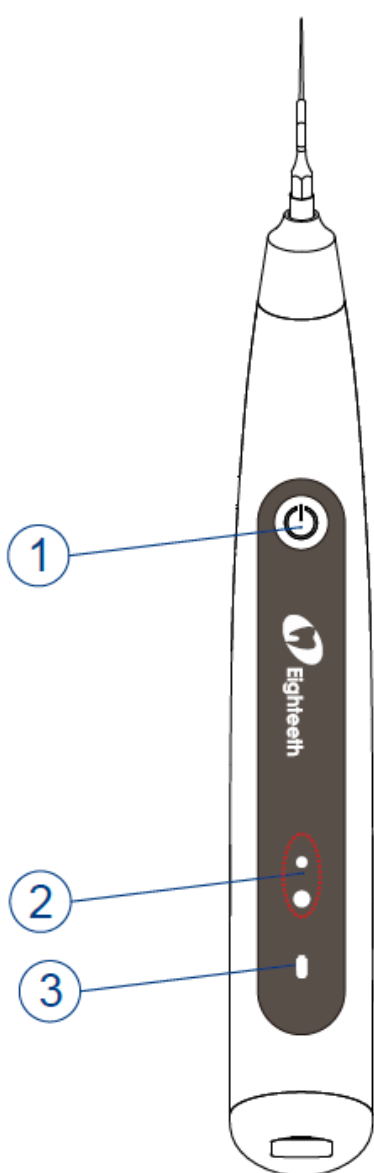
充電中は本機を使用しないでください。

本機を使用しないときは、チップを保護するために、Ultra X をハンドピースベースに置くことをお勧めします。



5 インターフェースの使用

5.1 パネルのキー



① メインスイッチ

② モードLED

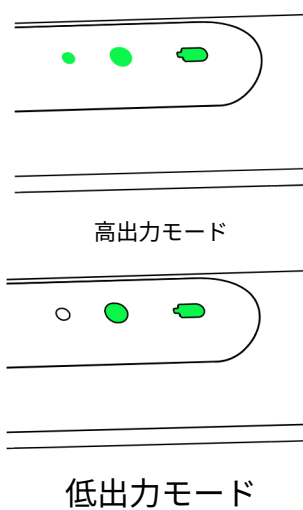
③ 電源LED

電源を入れる

を押して、デバイスの電源を入れます。

出力電力の調整

⌚を長押しすると、動作中に「高出力モード」または「低出力モード」に切り替えることができます。



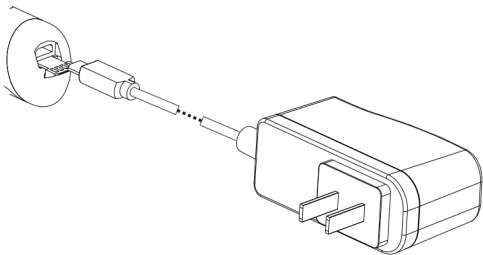
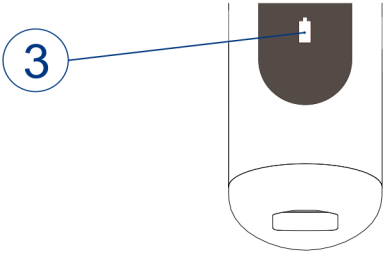
電源を切る

動作中に⌚を押すと、出力がオフになります
動作中に⌚を押して出力をオフにします。
Ultra Xは出力を停止し、スタンバイ状態になります。Ultra Xは、スタンバイ状態になってから1分後に自動的にシャットダウンします。

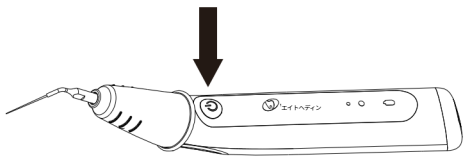
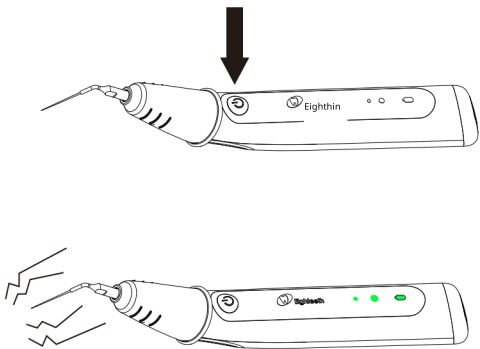
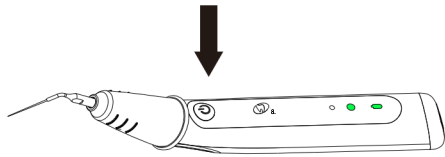
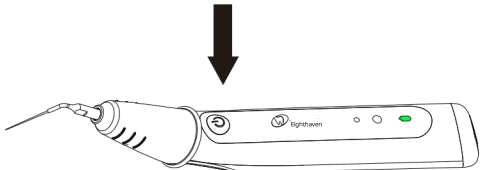
6 操作

6.1 充電

電源 LED が「緑」に点灯	バッテリー残量が 50% 以上です。
電源LEDが「黄色」に点灯	バッテリー残量は15%～50% です。
電源LEDが「赤」に点灯します	バッテリー残量が15%未満です。  注 バッテリー残量が15%未満の場合、30日以内に充電を行ってください。そうしないと、バッテリーが損傷します。
電源 LED が「赤」で点滅しています	バッテリー残量が 5% 未満です。デバイスは動作を停止し、音声による案内が表示されます。直ちに充電してください。  注 バッテリー残量マークは電圧を示しています。ハンドピースに負荷がかかると、バッテリー残量マークの表示が低下したように見える場合があります

	アダプターをハンドピースに接続します。  注 純正のアダプターのみを使用してください。
	充電中は電源 LED に充電表示が現れ、「黄色」(③) で点滅します。バッテリーが完全に充電されたか、ほぼ満充電の状態になると、点滅が止まり、「緑色」(③) に点灯します。 フル充電には、バッテリーの残量や状態にもよりますが、約 4 時間かかります。 本機器の動作条件にもよりますが、300～500回の充電が可能です。 3  注 交換を行うと、他の機能は強制的に停止し、充電モードに入ります。
 警告 バッテリーの交換は行わないでください。バッテリーの交換は、訓練を受けた技術者または販売代理店のみが行うことができます。誤ったバッテリーを使用したり、誤った方法で取り付けた場合、電子部品が損傷する恐れがあります。	

6.2操作

	デバイスの電源を入れる：メインスイッチを押してデバイスの電源を入れます。電源 LED が点灯します。
	本機の電源を入れる：メインスイッチを押して電源を入れます。電源 LED およびモード LED が点灯します。  注 ● 装置の起動後、超音波周波数で振動します。この時は、チップに触れないでください。 ● 無負荷状態で装置を長時間振動させないでください。 ● 使用中は、冷却のために十分な洗浄液があることを確認してください。洗浄液がない状態で操作しないでください。 ● チップを上下に動かす際は、チップが作業長から 2mm 上にあることを確認してください。 ● 根管内の洗浄液を 30～60 秒間作動させ、根管を最適な状態に洗浄してください。
	作業中にメインスイッチを 1 秒以上長押しすると、出力パワーをサイクルごとに切り替えることができます。
	装置の電源を切る：メインスイッチを押して装置の電源を切ります。Ultra Xは出力を停止し、待機状態になります。Ultra Xは、1分間の待機後に自動的にシャットダウンします。

Ultra X は、3 分間の連続運転後に自動的にシャットダウンします。また、本機にはタイマーリマインダー機能があり、動作中は 5 秒ごとにピープ音が鳴ります。



警告

- Ultra X は口腔外で使用し、装置が正常に機能していることを確認してください。
- 根管内でファイルが破断するのを防ぐため、チップは期限通りに交換してください。金属疲労によりチップが破断する場合があります。
- 使用中にハンドピースに過度な力や手圧をかけると、チップが外れる原因となる場合があります。



注

- 動作に異常が見られた場合は、直ちに使用を中止し、弊社までご連絡ください。
- 本装置は、すべてのタイプの根管に適しているわけではありません。著しく変形した根管には使用しないでください。
- 治療中は、手袋およびラバーダムを着用が必須です。
- 使用後は、必ず本装置からチップを取り外してください。

7.洗浄、消毒および滅菌

7.1はじめに

衛生および安全上の理由から、汚染を防ぐため、各部品（チップ、レンチ、絶縁スリーブ）は、使用のたびに洗浄、消毒、滅菌を行う必要があります。これは初回使用時だけでなく、その後の使用時にも当てはまります。

洗浄、消毒、および滅菌に関しては、各国のガイドライン、基準、および要件に従ってください。

7.2一般的な推奨事項

7.2.1 ユーザーは、最初のサイクルおよびその後の各使用における製品の無菌性、ならびに、無菌処理後の損傷または汚れた器具の使用について責任を負います。

7.2.2 ご自身の安全のため、個人用保護具（手袋、安全メガネなど）を着用してください。

7.2.3 有効性が承認されている（VAH/DGHM リスト掲載、CE マーク、FDA 承認）消毒液のみを使用し、消毒液メーカーの使用説明書に従ってください。

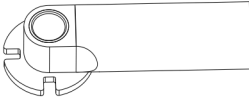
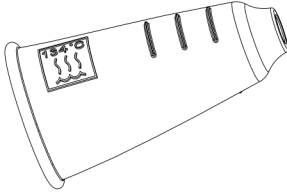
7.2.4 水質は、特に最終すすぎ工程や洗浄消毒機を使用する場合、現地の規制に適合している必要があります。

7.2.5 オートクレーブ処理の前に、構成部品を徹底的に洗浄してください。

7.2.6 チップおよびレンチは、超音波洗浄装置で洗浄しないでください。

7.2.7 漂白剤や塩化物系消毒剤は使用しないでください。

7.3オートクレーブ処理可能な構成部品

オートクレーブ処理可能な部品		
先端 	レンチ 	絶縁スリーブ 
 警告 • オートクレーブ処理が可能なのは、上記の構成部品のみです。 • 初回使用前および使用のたびに、上記の部品を滅菌してください。		
手順番号	手順	
1	初期処理	使用直後に、目に見える汚れを拭き取ってください。

	使用場所にて	部品からの汚染物質を取り除き、輸送用の容器に入れてください。 処理後、直ちに部品を準備してください。  警告 部品を液体に浸したり、以下の機能性水（酸性電解水、強アルカリ性溶液、オゾン水）、医療用薬剤（グルタルアルデヒドなど）、その他の特殊な水や市販の洗浄液で拭いたりしないでください。これらの液体は、金属の腐食や、残留した医療用薬剤が部品に付着する原因となる可能性があります。
2	洗浄前の準備	洗浄の前に、コンポーネント（チップ、レンチ、絶縁スリーブ）を取り外し、接続を解除してください。分解手順については、本マニュアルの「第4章 - Ultra X のセットアップ」を参照してください。  警告 適切な個人用保護措置を講じてください。
以下のステップ2からステップ4は、洗浄消毒機内で実施します：  警告 • EN ISO 15883 に準拠した認定済みの洗浄消毒機のみを使用し、定期的なメンテナンスと校正を行ってください。 • 製造元の指示に従い、指定された濃度を遵守してください（一般的な推奨事項を参照）。 • 精製水（最大10菌/ml、最大0.25エンドトキシン単位/ml）を用いた十分なすすぎ工程を設けてください。 • チップと器具、キット、台座、容器との接触を避けてください。 • 手順5に進む前に、構成部品が乾燥していることを確認してください。		
3	洗浄： 自動	部品（チップ、レンチ、絶縁スリーブ）を洗浄消毒機に丁寧にセットし、以下のパラメータを設定してください： 予備洗浄：水温 <30°C、2

		分; 洗浄：水温 45℃、5 分；洗浄消毒機での使用に適した酵素系洗剤溶液（低刺激性かつアルデヒドフリーの溶液）を使用し、洗剤溶液メーカーの取扱説明書に従って使用してください； - すすぎ：水温 45℃、1 分（2 回すすぐ）。
4	熱消毒：	90℃（194° F）で5分以上の熱消毒を行い、A0値が3000以上であることを確認してください。
5	乾燥	加熱：20分、90℃（194° F）
6	保守・点検	部品を点検し、欠陥のあるものを選別する。汚れた部品は、再度洗浄および消毒を行う必要がある。
7	梱包	各構成部品を個別の蒸気滅菌用パウチに梱包する。  警告 ●製造元が指定したパウチの有効期限を確認し、保存期間を決定してください。 ●141℃（286°F）までの温度に耐え、EN ISO 11607に準拠したパウチを使用してください。

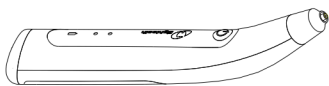
8	滅菌	134 °C で 6 分以上、蒸気滅菌を行ってください。 滅菌後の最低乾燥時間：10 分。  警告 ● EN 13060 または EN 285 に準拠した、承認済みのオートクレーブのみを使用してください。 ● ISO 17665 に準拠した、検証済みの滅菌手順を使用してください。 ● 製造元が指定するオートクレーブ装置のメンテナンス手順を遵守してください。 ● この推奨滅菌手順のみを使用してください。 ⚠ 有効性（包装の完全性、湿気の有無、滅菌インジケーターの色変化、物理化学的指標、サイクルパラメータのデジタル記録）を確認してください。 ⚠ 滅菌手順は、ISO 17665 に準拠している必要があります。 ⚠ 冷却が完了するまで触れないでください。
9	保管	滅菌包装に入った部品は、乾燥した清潔な環境で保管してください。  警告 ⚠ 包装が開封されている、破損している、または濡れている場合、無菌性は保証されません。 ⚠ 使用前にパッケージを確認してください（パッケージの完全性、湿気の有無、有効期限）。



注

上記の指示は、医療機器の使用準備が可能であることを、当該医療機器の製造業者によって検証済みです。処理施設における機器、資材、および人員を用いて実際に実施される処理が、所望の結果を達成することを確保するのは、処理業者の責任です。これには、プロセスの検証および／または妥当性確認、ならびに日常的なモニタリングが必要です。同様に、処理業者による提供された指示からの逸脱については、その有効性および潜在的な悪影響について適切に評価する必要があります。

7.4消毒用成分

ハンドピース	ハンドピースベース	アダプター
		

消毒用エタノール（エタノール70～80vol%）を軽く含ませた布で、すべての表面を少なくとも2分間拭き、これを5回繰り返す。



注

- 消毒用エタノール（エタノール 70～80 vol%）以外のものは使用しないでください。
- エタノールを過剰に使用すると、機器内部に侵入して内部部品を損傷する恐れがあるため、使用量に注意してください。

8. エラー警告

デバイスは動作を停止し、ピープ音が鳴り、電源 LED が赤く点滅します。	バッテリー残量が非常に少なくなっています。直ちに充電してください
電源 LED が「青色」に点灯しています。	メインボードが破損しています。直ちにデバイスの使用を中止し、バッテリーを取り外してください。お近くの販売代理店にお問い合わせください。

9. トラブルシューティング

不具合が発生した場合は、販売代理店にご連絡いただく前に、以下の点をご確認ください。これらのいずれにも該当しない場合、または対処を行っても不具合が解消されない場合は、製品に不具合が生じている可能性があります。販売代理店にご連絡ください。

問題	原因	解決策	参照：章
電源が入らない。	バッテリーが切れています。	バッテリーを充電してください。	6.1
	メインスイッチを押す時間が短すぎます。	メインスイッチを 0.5 秒以上押してください。	6.2
充電中に電源 LED が点灯しません。	不適切なアダプターを使用しています。	純正のアダプターを使用してください。	6.1
	コンセントに電圧が入っていません。	接続を確認してください。	
	アダプターが接続されていません。	接続を確認してください。	/
	アダプターのプラグがコンセントに差し込まれていません。	接続を確認してください。	/
電源LEDが「青色」に点灯しています。	メインボードが故障しています。	販売代理店にお問い合わせください。	/
ハンドピースのLEDが点灯しません。	ハンドピースが故障しています。	販売代理店にお問い合わせください。	/
チップが振動しません。	チップが正しく取り付けられていません。	取り付け状態を確認してください。	/
	チップが破損しています。	新しいチップに交換してください。	
	メインボードが故障しています。	販売代理店にお問い合わせください。	/
ピープ音が鳴りません。	メインボードが故障しています。	販売代理店にお問い合わせください。	/
のピープ音が鳴っています	バッテリー残量が非常に少なくなっています。	直ちにバッテリーを充電してください。	6.1

10.技術データ

製造元	常州 Sifary 医療技術株式会社
モデル	Ultra X
外形寸法	22cm × 18cm × 7cm ±1cm（パッケージ）
重量	750g±10%
電源	リチウムイオン電池：3.7V、1500mAh ±10%
充電器の電源	AC100～240V、±10%
充電器の出力	5V ≒ 1A
周波数	50/60Hz、±10%
充電器の公称入力電力	5.5VA
出力周波数	45kHz±5kHz
電気安全クラス	クラスII
適用部分	B
周囲条件	使用場所：密閉空間 周囲温度：10℃ ～ 35℃ 相対湿度：80%未満、0℃で結露しないこと 動作高度：海拔 3000m 未満
輸送および保管条件	• 周囲温度：-20℃ ～ +55℃ • 相対湿度：20% ～ 80%、40℃ 以上で結露しないこと • 大気圧：70 kPa ～ 106 kPa

11.EMC 表

ガイダンスおよび製造者宣言 - 電磁放射		
Ultra Xは、以下に指定する電磁環境での使用を想定しています。 Ultra Xの顧客またはユーザーは、本製品がそのような環境で使用されることを保証する必要があります。		
放射試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス
RF 放射 CISPR 11	グループ 1	Ultra Xは、その内部機能のためにのみ RF エネルギーを使用します。したがって、その RF 放射は非常に低く、近くの電子機器に干渉を引き起こす可能性はほとんどありません。 Ultra Xは、家庭用施設や、家庭用建物に電力を供給する公共の低電圧電力供給ネットワークに直接接続されている施設を含め、あらゆる施設での使用に適しています。
RF 放射 CISPR 11グループ 1	クラス B	
高調波エミッション IEC61000-3-2	クラス A	
電圧 変動/フリッカー 放射 IEC 61000-3-3	準拠	

ガイダンスおよび製造者の宣言 - 電磁耐性			
Ultra Xは、以下に指定する電磁環境での使用を想定しています。Ultra Xの顧客またはユーザーは、本製品がそのような環境で使用されることを保証する必要があります。			
耐性試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - 指針
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	±8 kV 接触 ±2 kV、±4 kV、±8 kV、 ±15 kV 空気	±8 kV 接触 ±2 kV、±4 kV、±8 kV、 ±15 kV 空気	床は、木材、コンクリート、またはセラミックタイルでなければならない。床が合成素材で覆われている場合、相対湿度は少なくとも 30 % でなければならない。
電気的高速過渡現象／バースト IEC 61000-4-4	±2 kV 100 kHz の繰り返し周波数	±2 kV 100 kHz の繰り返し周波数	主電源の電力品質は、一般的な商業施設または病院環境と同等である必要があります。

サージ IEC 61000-4-5	相間： ±0.5kV、±1kV 相とアース間： ±0.5kV、±1kV、 ±2kV	線間： ±0.5kV、±1kV 線-地間： ±0.5kV、±1kV、 ±2kV	商用電源の電力品質は、一般的な商業施設または病院環境のそれと同等である必要があります。
電源ライン上の 電圧ディップ、 短時間の停電、 および電圧変動 IEC 61000-4-11	0% UT; 0°、45°、 90°、135°、180°、 225°、270°、および 315° で 0.5 サイクル 0% UT; 1 サイクルおよ び 70% UT; 0° で 25/30 サイクルの正弦波位相 0% UT; 250/300 サイ クル	0% UT; 0°、45°、 90°、135°、180°、 225°、270°、および 315° で 0.5 サイクル 0% UT; 1 サイクルおよ び 70% UT; 0° で 25/30 サイクルの正弦波 0% UT; 250/300 サイ クル	商用電源の電力品質は、一般的な商業施設または病院環境のものを基準とする。機器のユーザーが商用電源の停電中も継続的な動作を必要とする場合は、無停電電源装置（UPS）またはバッテリーから機器に電力を供給することを推奨する
電源周波数の 磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m 50Hz または 60Hz	30 A/m 50 Hz または 60 Hz	電源周波数の磁界は、一般的な商業施設や病院環境における典型的な場所に見られるレベルである必要があります。
注：UT：定格電圧。例：25/30 サイクルは、50 Hz で 25 サイクル、または 60 Hz で 30 サイクルを意味します。			

ガイダンスおよび製造者の宣言 – 電磁耐性

Ultra Xは、以下に指定する電磁環境での使用を想定しています。Ultra Xの顧客またはユーザーは、本製品がそのような環境で使用されることを保証する必要があります。

耐性試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - 指針
------	-----------------	-------	-----------

RFによって誘起される伝導妨害	3 V 0.15 MHz – 80 MHz、6 V in 0.15 MHz ~ 80 MHzのISM帯域、80 % AM (1 kHz時)	3 V	携帯型および移動型の RF 通信機器は、送信機の周波数に適用される式から算出された推奨分離距離以上、 Ultra X のあらゆる部分（ケーブルを含む）から離して使用してください。
放射 RF 電磁界 IEC 61000-4-3	3 V/m、80 MHz – 2.7 GHz、 1 kHz で 80 % AM	3 V/m	推奨される最小分離距離 「推奨される最小分離距離」の RF 無線通信機器の表を参照してください。
RF 無線通信機器からの近接場 IEC 61000-4-3	「推奨される最小分離距離」の「RF無線通信機器」表を参照	準拠	

推奨される最小分離距離						
今日、医療機器やシステムが使用されるさまざまな医療現場で、多くの RF 無線機器が使用されています。これらの機器が医療機器やシステムのすぐ近くで使用されると、医療機器やシステムの基本的な安全性および必須性能に影響を及ぼす可能性があります。Ultra Xは、下表のイミュニティ試験レベルで試験されており、IEC 60601-1-2:2014 の関連要件を満たしています。お客様および／またはユーザーは、以下に推奨される通り、RF 無線通信機器とUltra Xとの間に最低距離を確保してください。						
試験周波数 (MHz)	帯域 (MHz)	サービス	変調方式	最大出力 (W)	距離 (m)	試験におけるイミュニティ レベル (V/m)
385	380 ~ 390	TETRA 400	パルス 変調	1.8	0.3	27

			18Hz			
450	430~470	GMRS 460 FRS 460	FM ± 5 kHz 偏差 1 kHz 正弦波	2	0.3	28
710	704-787	LTEバンド13、 17	パルス 変調 217Hz	0.2	0.3	9
745						
780						
810	800~960	GSM 800/900、 、TETRA 800、 、iDEN 820、 、CDMA 850、 、LTE Band 5	パルス 変調 18Hz	2	0.3	28
870						
930						
1720	1700~1990	GSM 1800; CDMA 1900; GSM 1900; DECT; LTE バン ド 1、3、4、25; UMTS	パルス 変調 217Hz	2	0.3	28
1845						
1970						
2450	2400~2570	Bluetooth、 WLAN、 802.11 b/g/n、 RFID 2450、 LTE バンド 7	パルス 変調 217Hz	2	0.3	28
5240	5100~5800	WLAN 802.11 a/n	パルス 変調 217Hz	0.2	0.3	9
5500						
5785						



警告

1. **Ultra X**の製造元が指定または提供した以外の付属品やケーブルを使用すると、**Ultra X**の電磁放射が増加したり、電磁耐性が低下したりして、正常に動作しなくなるおそれがあります。

ケーブルに関する情報：

ケーブル名	ケーブル長 (m)	シールドの有無	備考
アダプタケーブル	1.2	なし	/

2. **Ultra X**を他の機器のすぐ隣に設置したり、積み重ねたりすることは、正常に動作しなくなる恐れがあるため避けてください。やむを得ずそのような使用を行う場合は、**Ultra X**および他の機器が正常に動作していることを確認してください。

12. 声明

耐用年数

Ultra Xハンドピースの耐用年数は3年です。

廃棄

梱包材はリサイクルしてください。本装置の金属部品は金属くずとして処分してください。合成材料、電気部品、およびプリント基板は電気くずとして処分してください。リチウム電池は特別廃棄物として処分してください。お住まいの地域の環境保護に関する法律および規制に従って処理してください。

権利

製品の変更に関するすべての権利は、製造元に留保されており、別途通知することなく変更される場合があります。写真はあくまで参考用です。最終的な解釈権は、CHANGZHOU SIFARY MEDICAL TECHNOLOGY CO., LTD. に帰属します。工業デザイン、内部構造などについては、SIFARYが複数の特許を出願しており、模倣品や偽造品については法的責任を負うものとします。

連絡先

kadashika.jp@gmail.com

URL: <https://www.kadashika.jp/>